



2018年
今年もよろしく
お願いします。

ご縁に感謝をし、自分の出来ることに努めていくことに

経理部主任：伊藤 秀子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
旧年中は、格別にご愛顧を賜わりまして、心より御礼を申し上げます。
一年を振り返り思うことは、社長、顧問に仁木での農作業に専念できるよう、お店を守っていただけるかどうか心細いものでした。
「まほろば」の在り方を、各々で考える大きな宿題を頂いたように思っております。
刻の過ぎるのは早く、未だに明確に出来ずにおります。
お客様の中にも、感じられていらっしゃるのではないでしょ

うか。
只、足を止めて思いあぐねてばかりではられません。
今、このご縁に感謝をし、自分の出来ることに努めていくことで、自ずと見てくるのではないかと思っております。
長く、皆様に育てられて頂いた「まほろば」です。
これからも、皆様に愛されるお店であるよう、店長を中心に、皆で力を合わせてまいります。
お客様からのお声をお聞かせくださいませ。
本年も皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます

苦手なこともどう対応できるかが、成長への一歩

本店 バックヤード主任：小原 大輔

新年明けましておめでとうございます。
昨年御来店して頂き、また遠方のお客様にも沢山御注文いただきまして本当に感謝しております。
ありがとうございました。
少し前からですが商品の発注の仕事を担当することになり、事務所でパソコンに向かうことが多くなったため、店頭でお客様とお話する機会も少なくなりました。時々店頭でお会いしたときに「毎度、元気かい？」と声をかけていたり、どうしてか、小さなお子さんからも声をかけられることも多くあります。内容は学校の話や遊びに行った話、趣味のことなどいろいろ教えてくれます。それが結構面白かったです。
発注についてのお話ですが、テレビなどの影響でその時には売れてしまい店頭で品切れ状態でも、今年はさっぱりなんてことも多くあります。実績だけの注文でもできなかったり、賞味期限が短い商品や季節により売れたり売れなかつたりするものなど、いろいろ大変ですが、私にはとてもやりがいを感じてやらせて頂いております。
売り出しが終了して少しすると
今回の売り出しの準備に入る月もあり、バタバタしてしまい他のことが全くできなくなることもあって、みんなに迷惑をかけたこともありました。今年も新しいことやその中できつと自分が苦手なこと多くあると思いますが、その時どのように対応できるかが成長への一歩かなと思います。迷惑はかけないとはあえて言わないですけど、でも頑張りたいと思います。
皆様にとってより良い1年になりますよう願っています。本年もよろしく願いいたします。



激動の一年でした。

本店 バックヤード（嘱託社員）：小田島 町枝

あけましておめでとうございます。昨年中のご愛顧、誠にありがとうございました。年齢が上がると共に下がるのが体力ですね。
私も同様で、定年のため正社員から嘱託社員となり、勤務日数を週5日に減らしてもらいました。
力強い福田主任も激動の一年でしたが、私も激動の一年でした。
1月〜大橋・島田両常務との個人面談
5月〜正社員から嘱託社員へ
9月〜三男の転職にともない、次男が三男のマンションに転

居準備
10月上旬〜三男、研修のため名古屋入り
10月下旬〜次男、転居終了
11月上旬〜三男、研修終了し沖縄県石垣市入り(札幌から3000K)遠いよ!!
11月中旬〜三男、石垣市のアパートに転居
11月下旬〜長男、勤め先決定
引越はしは業者に頼まず、私と息子3人でやりました。
お互いに仕事をしながらのことでしたので、完了まで時間が掛かりましたが、息子たちがとても頼もしく思えました。
プライベートな事柄ばかり書いてしまいましたが、今年も『まほろば』共々宜しくお願い致します。

作り手の想いもお伝えしていけるパンを作ること

ソフテリア主任「ペカリー・フィニクス」チーフ：宮本 善夫

新年あけましておめでとうございます。
旧年はソフテリアのパンをご利用いただきほんとうにありがとうございました。
昨年は振り返り特に印象的だったのは『まほろば仁木農園での農業体験』の思い出で、たった1日だけのさらに収穫だけの作業だったのですが、半端ない枝豆や南瓜の収穫に、なまっただカラダが悲鳴をあげた記憶です。
そして店頭に並んでいる野菜がそこに至るまでにいかに地味で大変な作業や、作り手の想いを経て並んでいるかを身をもって知り、日常的にパンで使わせてもらっている野菜を扱うことにも改めて身の引き締まるしだいであり

その体験より、今年の目標の一つに、旬の安全安心な野菜を使うのはもちろん、作り手の想いもお伝えしていけるパンを作ることを掲げたいと思っています。
今年は「戌年」で、個人的には駆け抜けるよりも足場の土を掘り耕してまほろばの良さを再発見するイメージでガンバって行きますので、ソフテリア「phoenix」のパンを今年もどうぞよろしく願いいたします! ありがとうございます。



毎日、という「好き日」を、大切に歩みたい

本店・店内主任：斉藤 恭兵

新年、明けましておめでとうございます。
今年は雪も少なく暖かで、比較的過ごしやすなお正月となりました。皆様は、いかがが過ごされましたか。私は、親戚一同と温泉旅館に行くなど、年に数回しか会えない親族と有意義に過ごす事ができました。
昨年12月中は荷物の運送にも混乱があり、野菜が思うように届かない、卸売市場でもあまりの高値で野菜が買えないなど、お客様をがっかりさせてしまう事態も少なくありませんでした。
不可抗力とは言え、歳末の買い出しの時期にお客様の期待に応えられなかったことは誠に残念に思います。今年はそのようなことの無いように願うばかりです。
さて、私にとって2017年は、多様なことへの興味が開かれた一年でもありました。「ti-tie チッチ」(エリクサー水と乳を混合することで生まれるチーズ)づくりから始まり、家庭菜園での0-1テスト農法や自家採種の実践。まほろば自然農園での農作業の研修、自家製の札幌大球を使った漬物づくりをきっかけに、魚醤油などの伝統的な発酵食品づくりの研究と、様々なテーマを扱いました。
また、6月には出雲を訪ね、まほろば創業当初からお世話になっている井上醤油店、その他、取り扱いのある食品のメーカーを見学し、一品々の商品に宿る心を学ばせて頂きました。まほろばに入社した当時は、このような事に興味を抱く自分ではなかったように思いますが、自分の興味に応じてくれる人物や情報、環境がまほろばにはあり、そこに身を置くうちに自然と今の自分になったのだと思います。不思議なものだと思うと同時に、感謝の気持ちになります。
昨年、私にとって一番の出来ごとは、家族にとっての第二

子が産まれた事です。2月頃に妻の妊娠が分かり、9月5日に無事出産しました。出産してからの1ヶ月間は、毎日夕方に運動させて頂き、授乳以外の家事全般に励む事が出来ました。おかげさまで産後の経過も良く、子供も健康で、自身にとっても良い経験となりました。これもひとえに会社の理解と、共に働く仲間の多大なる協力があったからこそ、心から感謝しております。
8月には、仁木町にあるまほろば自然農園にて従業員慰安のバーベキューがあり、従業員の子どもと一緒に参加しました。まほろばが目指す未来、そして生き方の片鱗を、これからの担い手たちと共有できる良い機会になったと思います。それと同時に、子供たちに胸を張れる仕事、そして生き方をしたいと、改めて感じさせられる会でした。
ここ数年、まほろばにご来店されるお客様も、子育て世代のお母さんや、ご高齢の方が多く見受けられ、顔ぶれが随分と変化したように感じられます。地域に根差し、まほろばらしくどのように貢献できるか。遠くの誰かでは無く、隣のあなたに何を届けられるか。そんな事を考えるようになりました。
また、中小の小売店が仕入れの為に負担する送料が大幅に値上げになるなど、今こそ、遠くから何かを持って来るのではなく、無駄なく地域の中で循環できる「地産地消」の社会を見直す機会に差し迫っているのではないのでしょうか。もっと言えば、各家庭が育て、つくり、与え合う。もっとローカルな、だからこそ地域に、そして自分自身にフィードバックする衣食住。そんな新しいスタイルを獲得することが出来るのではないのでしょうか。そんな提案を発信できるまほろばで在りたいと思っています。
兎にも角にも、目の前の課題に、今起きていることに真摯に向き合い、自分の心に正直に進む一年にしたいと思います。ひとつずつ石を積み上げるような、毎日、という「好き日」を、大切に歩みたいと思います。
本年も、どうぞよろしく願い申し上げます。



「小国寡民」の一員として自分の持ち分を活かし助け合えるように

仕入れ主任：大庭 奈緒子

新新年明けましておめでとうございます。
旧年中の皆様のおかげで愛顧に感謝いたします。本年も変わらぬご愛顧のほど何卒宜しくお願いいたします。
とは申しませんが、昨今の食糧調達事情は深刻です。大雨や海水温上昇による被害、寒波による冷害、天候や人手不足、原油高騰による運輸事情の悪化等々、昔の栄光は今や廃れてしまえばかりです。食事で欲求を満たす時代は終わりに近づいているのかもしれない。
そんな厳しい中ではありますが、少しでも皆様のお役に立てますよう「まほろば」スタッフの1人として励む所存でございます。
生きるために食う、食うために育てる、育てるためには知識を得、動き、知恵を出し生きてゆく。
その繰り返しの中での喜び
苦しみ
が人として生きるということなのか? 意味なんてないのかもしれないが、もっと自分の本能を感じ、信じ、人に頼りすぎることな社長の掲げる「小国寡民」の一員として自分の持ち分を活かし助け合えることを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。仕入れに際しては、不備の多い日々となるでしょうが、これも自然の計らいなのだと、ご容赦のほど宜しくお願いいたします。
皆様のご健康とご健勝をお祈り申し上げますと共に、昨年同様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



心にランプが灯ったように温くなる瞬間の積み重ねに……

まほろばバックヤード担当：小島 侑子

新年あけましておめでとうございます。
今年の札幌は今のところ雪も例年より少ない暖かい冬なこともあり、おかげさまで体も心も穏やかな年の始まりを迎えることができました。その一方、九州など寒さの影響を受けている地域もあるようで、野菜の高騰や農作物に影響が出ているのを目の当たりにし、地球の気候変動の現実や世界で起きている現状を見ると、私たちの意識の変化がより一層必要だと感じる今日この頃です。そうした中でも、北海道から各地に広がるまほろばの温かいお客様に支えられ、大切な従業員の仲間とこうしてお仕事できる場所があることに心より感謝しお礼申し上げます。
昨年は初めての梅干しを漬けたり、糠どこを作ったり、らっくさの甘酢漬け、福岡農園の柑橘でジャム作りと、昔からある日本の食文化にほんの少しでも触れる機会を持つことができました。
以前から興味はあったものの、なんだか腰が重かったのですが、いざやってみると手間がかかる分、失敗しないように慎重に作業し、愛着もより増え、完成までの時間は「どんな出来上がりになるかな?」とわくわく待ちどおしい気持ちで新鮮な体験でした。
また、同じく手作りを楽しむ仲間との情報交換もとても楽しい時間でした。

休暇を頂いて出かけた旅先では、外食漬けの毎日に飽きてしまい辛さまで感じました…涙。既製品の良さはもちろんありますが、何を使って何を作るのか、何をどのように食べるのか、食の大切さ手作りの良さを特に思った一年だったように思います。
また、お客様と店頭や電話で珍しい野菜や果物の話題、今日の献立のお話、美味しかった食材、調味料の話、おススメの食べ方であったり、調理方法を知ったりそんな日常の何気ない会話やひとときが、私にとってとても楽しい時間でした。お客様と「いらっやいませ」だけでも嬉しい、おはようございますや「こんにちは」のあいさつができたり、ご来店するお子さんの成長を感じたり、心にランプが灯ったように温くなる瞬間の積み重ねに日々喜びと元気を頂いているように思います。
食を通してお客様と共有できるこの時間を今年も大切にし地域の皆様と愛されるお店となるよう努めて参ります。今年もどうぞよろしく願いいたします。
皆様にとりまして新しき年も笑顔あふれる年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



お店の勤務もまた農業みたいに感じるようになってきた!

まほろば主任：福田 直之

新年明けましておめでとうございます。昨年もたくさんのお客様にまほろば農園の野菜を食べて頂き本当にありがとうございました。
と毎年同じ始まりの新年の挨拶でしたが、皆様ご存知かも知れませんが、私は去年まほろば農園を辞め、まほろば本店勤務となりました。
昨年は畑の片付け、仁木農園のお手伝い、お店の仕事とあちこち作業。今思い返せば、今年が本店の常勤になることができました。今更に言えば、まほろばに入社したきっかけは、ただ農業をやりたいくて、それだけでした。
自然食も知らない、0-1テストも知らない(初めて見た時は本当に店長は手が震える病気なんだと思ったくらいです)純粋に農業をやりたいという気持ちだけで農園に勤務して約14年、今農業から離れてお店の勤務。本当にこれで良かったのか、自問自答の毎日昨年一年間でした。
私はとにかく作るのが好きで、何か物を作ったり、野菜を作ったりが好きなのです。何もない土に種まきをし、草取り、肥料やり、水やりなど管理しながら育っていく野菜達。試行錯誤しながら、思い通りの味の野菜が出来たときの喜び、自然相手の農業は、思うように行かない毎日ですが、同じ日と言ったのが一度もなく、変化、発見の毎日。それが難しく面白い、農業の魅力であると思います。
きつと、どんな仕事もそうですが、仕事の辛さ難さを、いかに面白くと思えるか、だと思います。
農園は、人との付き合いが苦手な私には、常に自分らしくいられる環境だったのかもしれませんが、ですが、実際農業で生活していく大変さがあるのも事実です。

お店に勤務して自分出来ることは素人なのか? まったく素人でスタッフの皆さんに迷惑かけてばかり。忙しく日々の業務をこなして過

ぎる毎日の中、ふと思うのは、お店の勤務もまた農業みたいに感じるようになってきたこと。それは販売している野菜や魚、いろいろな良い商品をお客様にお勧めし、お買い求め頂く、その商品によって健康でいてくれるお客様。そのお客様から「美味しかった、良かった」と嬉しい言葉と笑顔を頂けることが、なにより収穫ではないでしょうか。来店してくださるお客様が楽しくお買い物して、また来ようと思ってくれるお店にしたいと思っています。
そこで私は、お店の全ての商品の生産者の思い、どんな思いで作ったのか、同じ生産者の経験をしてきたからこそ、その気持ちを理解し、大切にしたいと思えます。その気持ちをお客様に伝えていくことが、自分の在るべき姿なのだと思います。ただ売るのではなく、生産者と消費者の間に立ち、繋ぐことが出来るのは、生産者の経験もある者の使命かもしれません。
まだまだ十分な知識はありませんが、少しずつでも伝えていけたらと思います。
また、家庭菜園をされてお客様も多いので、やはり野菜作りの質問が多く、少しでもお客様の家庭菜園のアドバイスが出来ればと思います。
まだまだ新米の私ですが、どうぞよろしく願いいたします。



声を励みに、今年一年も生命力ある野菜をお届けできるよう

まほろば自然農園研修生：池田 尚樹

新年、明けましておめでとうございます。
昨年も、まほろば並びにまほろば自然農園の野菜をご利用頂きましてありがとうございました。
たくさんさんのボランティアの方々、研修という形でお店のスタッフにも度々サポートしてもらいながらなかなか一年を終えることができたのですが、それでもなかなか思うように出荷出来ずに終わった野菜も多かったのは大きな反省点でした。一方で、味の方は例年以上

に美味しかったという評価を頂いた野菜もあったのは嬉しく報われる思いもありました。
こうした声を励みに、今年一年も生命力ある野菜をお届けできるよう努めていきたいと思います。

